

## はにい 『多様な学びの学校』

令和6年9月18日



「この部屋で黒板はあまり使わないよね」「みんなの食堂に看板を作ろう」とある生徒の提案。話し合いの結果、黒板を切って看板を作ることになった。様々な理由で学校に登校していない生徒たち。みんなで昼食を作ることが日課になってきたある日のできごと。看板が出来上がると、「調味料を置く棚が必要だね。」「みんなで棚を作れないかな。」調理を重ねるごとに、おいしい料理を作るには、調味料の使い方には割合が大切だと気付いた。

割合から、割り算などの数学が必要だと実感し、改めて学び始める生徒もいる。棚づくりには製図や、のこぎりの使い方を学ぶ必要がある。気が付くと技術科の授業が始まる。

さらに、自分たちでできる料理の品数が増えると、「お品書きを書きたいね」と国語の学びが始まり、「お品書きをどう見せるのが効果的かな？」と美術の学びが始まる。

この学校は、どの部屋にも、決められた座席はなく、3つの学年が同じ部屋で授業を行う。ソファでリラックスしたり、大きいぬいぐるみの上に寝そべったり、部屋の隅っこで話を聴く生徒も。学び方も多様。

令和4年の開校以来、日本全国からたくさんの方が視察に訪れる。子どもたちは、白地図の視察マップを作った。来校された方の都道府県に色を塗っていき、その土地の名産や特徴をインタビューし、日本の地理を学ぶ。これは社会科の学び。



お土産をいただくこともある。この日も、インタビューをしていた子どもが、お土産について尋ねた。「賞味期限は長いですか？」  
「ごめんね、気にしないで買ってきてしまいました。」  
「こちらこそ、ごめんなさい。ここに通う友だちは、次いつ来ることができるか分からないから。」

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。